

会 議 録			
会 議 名	令和８年度第１回棚倉町立学校統合準備委員会		
開催日時	令和８年８月３１日（月）	開会	午後６時００分
		閉会	午後７時５２分
開催場所	棚倉町役場 正庁		
会議次第	１ 開 会 ２ 委嘱状交付 ３ 教育長あいさつ ４ 協 議 （１）今後のスケジュールについて （２）校舎建設場所の比較検討について （３）その他 ５ その他 ６ 閉 会		
傍聴者数	２人		
欠席した委員	橋本義治委員、藤田辰之進委員、緑川喜秋委員		
会 議 議 事 内 容			
１ 開 会	事務局（白石課長補佐）		
２ 委嘱状交付	新たに委員となった方の代表者に対して荒川教育長から委嘱状を交付した。併せて、昨年度から継続する委員を紹介した。 代表者：曾我 雅吉委員（保護者代表者） 人事異動により副委員長を社川小学校菊池呂之校長が務めることを報告		
３ 教 育 長 あいさつ	荒川教育長 本日は組織体制を含めた今後のスケジュール、校舎建設場所の比較検討についてご協議いただくことを主な議題にしています。 それだけでなく、少子化や既存校の成果等を踏まえ、未来の教育をどう構想していくかを考えていく必要があります。子どもたちにとって必要な学校像を念頭に、多様な立場から積極的な意見をいただき、未来の棚倉の学校教育を共に創造することをお願いします。		

4 協 議 (1)今後のスケジュールについて	益子委員長が、議長となり議事を進行した。 冒頭、益子委員長から昨年度の協議の経過、本日の委員会の進行についてあいさつがあり議事に入った。 事務局から資料1、資料2を基に説明した。 事務局説明後、委員から下記の質疑があった。	
	塩田綾子委員	夏休み前に児童生徒、保護者等へのアンケートを行ったということですが、児童生徒ということは、町内の小学校、中学校のお子さんと保護者ということになるのでしょうか。
	事務局	アンケートの対象者ですが、小中学校の児童生徒については、夏休み前に学校の先生に手伝っていただき、タブレットを使って回答をいただいております。あわせて、小中学校、幼稚園、保育園の保護者にもお願いしております。また、小中学校の先生方にもアンケートをお願いし、回答をいただいております。
(2) 校舎建設場所の比較検討について	事務局から資料3から資料6を基に説明した。	
	益子委員長	ただいま資料3から6まで事務局より説明がありました。ここからはグループに分かれて意見交換を行っていただきますので、グループ毎に協議願います。
	事務局	グループ分けについて説明し、各自席を移動。 Aグループ：地域住民代表者及び学校教育有識者、 Bグループ：小・中学校・幼稚園・保育園の保護者代表 Cグループ：小・中学校の校長、幼稚園長
	グループ毎に意見交換及び質疑応答	
	益子委員長	お疲れ様でした。少人数に区切ったのでディスカッションでしたので、様々な意見が出たかと思います。それぞれのグループでの意見等を、事務局担当より報告いただき、その後、個人的に言い足りないことがあれば、ぜひ発表していただければと思います。まずAグループから報告をお願いします。
	Aグループ担当事務局	Aグループでは、いろいろな意見が出ました。その中で多かったのは、「道路のことを合わせて考えなければ後々問題になる」という意見です。ほぼ皆さんから

		同じ意見が出ました。 また、土地のメリット・デメリットは整理されていますが、建設した後のメリット・デメリットまで、もう少し整理が必要ではないかという意見がありました。 例えば「道路は1本しかありません」とありますが、それならどうしたらよいのか、道路までつくった方がよいのか、というところまで考えてメリット・デメリットを整理してもらえれば、もう少し絞れるのではないか、という意見でした。 棚倉中学校については、仮設校舎で3年間過ごす生徒が出るので現実的ではないのではないか、という意見が出ました。また、借地であるという点もデメリットとして大きいという意見がありました。 最優先は子どものことを中心に考えるということであり、費用のことも重要ですが、子どもにとって広々としたところで、一番よい状態、よい環境をつくってあげたいというのが、皆さん共通した意見でした。
	Bグループ 担当事務局	Bグループは保護者代表の皆さんのグループでしたので、やはり子どもの負担を心配する声が一番多くあがりました。 どの候補地にもデメリットがあるので、どのデメリットを受け入れて選定していくのかというところが重要ではないか、という意見がありました。 ここからは各候補地について出た意見を発表します。 候補地1の旧棚倉高校跡地については、金額面、建てやすさ、子どもへの影響が少ないというメリットがある一方、馬場都々古別神社の裏が凍結すること、住宅地の町道が狭いことなど、アクセス面のデメリットが大きいという意見が出ました。 候補地2のルネサンス棚倉については、大学生の合宿などもあり、ルネサンス棚倉の営業への影響がデメリットとしてあがりました。 候補地3の棚倉中学校敷地については、場所としてはこの中で一番よいのではないかという意見がありました。が、どうしても仮設校舎の影響が大きい。工事の騒音、仮設校舎の環境への懸念が大きいという意見でし

		た。対応として、仮設校舎をほかの学校や別の空き地に設置してはどうか、という意見も出ました。 候補地4の平坦な土地については、場所、アクセス、建て方の自由度が高いことがメリットである一方、用地取得、農地転用などに相当な期間を要すること、用地取得費などの経費がかかること、そういったデメリットが大きいという意見が出ました。 その他として、これから子どもが減るなかで、大きな金額をかけて学校をつくるべきなのかという意見もありました。
	Cグループ 担当事務局	Cグループは校長先生、園長先生方のグループでした。 まず出た質問として、「ルネサンス棚倉は、敷地内のどの場所を想定しているのか」、図からは読み取りにくいということ。また、「道場やプールなどはつukらない方向なのか」、図からは、そのようにも見える。 整備する施設は、部活動の地域移行等も踏まえて必要性を見極めて考えていかなければならない、という話がありました。 それから、資料にあるメリット・デメリットは項目数や評価軸が異なるため、さらなる検討が必要ではないかという話がありました。例えば馬場都々古別神社は歴史的なことを学べるメリットがあるかもしれませんが、子どもたちが非行に走る、いわゆる「たまり場」になる可能性を考えるとデメリットにも入るのではないか、という意見が出ました。 さらに、建設するうえで重視したい点の意見もありました。重視したい点は、土砂崩れ等への懸念による防災面、アクセス道路の整備や広い駐車場といった環境面、防犯面が挙げられました。駐車場が狭かったり道路アクセスが悪かったりすると、渋滞など周囲への影響が大きいという点や、部活動の地域移行を踏まえると、放課後の移動手段や動線も考えていく必要がある、という意見がありました。 ここからは各候補地についての意見を発表します。 まず、ルネサンス棚倉は、観光地としての役割と学校

		教育との共存が可能なのかという疑問、学校と観光施設が近すぎるのもよくないのではないかという意見がありました。 棚倉高校跡地については、周辺道路の整備が必要不可欠であり、時間もかかること、土砂災害の懸念もあるという意見がありました。 棚倉中学校敷地の場合は、予算を抑える方法として、仮設校舎をつくらず、棚倉中学校の北校舎・南校舎の片側を使用しながら、もう片側を解体・建設するような方法も考えられないか、という話がありました。 また、防災面については、土地・地盤の安全性を詳細に調査する必要があるのではないかという意見がありました。 平坦な土地については、駐車場やアクセス道路など、これから意見を取り入れて自由につくるのであれば良いのではないかという意見がある一方で、土地の買収が確実にできるのか、費用と開校までの時間が足りるのかという意見も出ました。 また、本日晒された4案以外のアイデアとして、ルネサンス棚倉のインドアテニスコートから総合体育館の間あたりで大きな場所が取れば、動線やアクセス的にも良いのではないかという案が出ました。 また、総合体育館の場所に学校をつくり、棚倉中学校敷地に総合体育館をつくる、敷地交換のような案も出ました。
	益子委員長	各グループから報告をいただきました。今の報告を受けて、個人的なご意見として、こんなことを言ったが報告に上がっていない、あるいは他のグループの意見を聞いてこんなこともどうか、ということがあれば、ぜひご意見をいただきたいと思います。
	鈴木（信）委員	棚倉中学校の北校舎・南校舎の片側を使用しながら、もう片側を解体・建設するような方法も考えられないか、という意見を出しましたが、騒音や振動の懸念があることを失念しておりました。工事による騒音や振動等の対策が必要となります。

	八槻委員	4つの候補地を見たときに、棚倉中学校は借地も多いし、交通の便からみても、道路の幅員が狭いという環境にある。 それから、仮設校舎で3年間過ごして卒業する子がでるということ自体が少しかわいそうで、この候補地は個人的には「無し」だと思いました。
	和田委員	Cグループの発表を聞いて気になった点が、総合グラウンドを学校にして、棚倉中学校のところに総合体育館をつくるという案です。それも「あり」だと思いました。 もし、30年後、50年後にまた建て替えとなって、敷地を探すのであれば、その場所を交互に使えば良いのではないかと思います。建設にはお金がかかるかもしれませんが、敷地で迷うことはなくなるし、子どもたちや保護者も次はあの土地とイメージができるので、個人的には、それも「あり」だと思いました。 私は現役の保護者ですので、いろいろな意見が出るとは思いますが、ぜひ皆さんで話をして、前向きな決定ができればと思います。ありがとうございました。
	菊池副委員長	Cグループについては、先ほどの「まとめ」の内容と同じようなことを私も考えておりました。 先ほど和田委員からもありましたが、総合体育館の場所は、Cグループでも少し盛り上がった点でしたので、検討の余地はあるのかなと思っています。 現実問題として、交通手段、そして子どもたちの安全というところが最も大事なところだと思いますので、検討をよろしくお願いします。
(3) その他	事務局から「その他」として説明する内容は無し。委員長から各委員にその他として意見を求め、下記のような質疑応答があった。	
	山口委員	資料1に関連して参考までに伺います。6月にプロポーザルの審査会があり、株式会社教育施設研究所東北事務所に決定されたということですが、近隣でなくても構いませんので、同社の最近の実績など分かればお知らせいただきたいと思います。

	事務局	教育施設研究所は全国的に展開しており、多くの実績があります。最近の実績ですと、山形県河北町、東京都板橋区、東京都府中市、島根県松江市などがあります。県内では福島市の松陵義務教育学校を請け負っております。
5 その他	事務局	次回の委員会開催予定について発言。
6 閉会	事務局	午後 7 時 5 2 分

< 委員会の様子 >

